

祝 辞

本日ここに、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、社団法人 日本化学会の創立125周年記念式典が挙行されるに当たり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

日本化学会は、明治11年に設立されて以来、研究発表会、学術講演会の開催、学会誌の発行等を通じ、化学と化学技術関連分野の発展・向上、さらには化学教育の振興等に多大の貢献をしてこられました。このことは、我が国の研究者が3年連続してノーベル化学賞を受賞したことに端的に現われており、貴学会を中心とする化学関連の研究活動が国際的にも極めて高く評価されていることを示すものであります。

また、今日、我が国の産業はめざましい発展を遂げましたが、その歴史は、産業技術の基盤を形成し、あらゆる分野に密接に関連する化学技術の進歩なしに語ることはできません。有用物質の生産に関わる化学技術は我が国製造業の飛躍の原動力であり、国の経済発展と国民生活の向上に大きく寄与するものであります。貴学会は、これらの活動を、技術交流や人的交流、情報交換等を通じて促進し、我が国の研究水準の向上に大きく貢献してこられました。

文部科学省といたしましても、科学技術基本計画等を踏まえ、研究者の自由な発想に基づく基礎研究の推進、国家的・社会的課題に対応した研究開発の重点化、産学官連携の促進、国際的な情報発信力の強化等に努めておりますが、こうした中であって、化学分野の幅広い人材と知識が集約され、最新の研究成果が発表される貴学会に対しては、各方面から多大の期待が寄せられているところです。どうか今後とも、この輝かしい125年の知的蓄積を活かし、先端的研究や優れた若手研究者の育成に意を用いられ、世界をリードする先導的な学会として、ますます発展していただくことを期待いたします。

本日の式典に当たり、これまでの発展に尽力された貴学会の歴代会長をはじめ、会員の皆様に対し、心からの敬意を表しますとともに、貴学会が、今後とも、我が国及び世界の学術・科学技術の発展に大きく貢献されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成15年 3月19日

文部科学大臣 遠 山 敦 子